



とびら



目次

9月定例会の主な議案と質疑内容	2-3
9月定例会 一般質問内容	4-8
各委員会の紹介	9-12
創刊に寄せて	13
議会全体研修報告	14
議会活動報告 お知らせ	15
12月定例会の日程	16

創刊号

2014.11

9月定例会 主な議案と質疑内容

町の一般会計予算は **8,716** 万円を補正して

総額 **121 億 4,797** 万円になりました

Q これまでも対策をとっていると思うが、具体的に何が足りなくて今回、制定するのか。

A 今、いじめがあるとかではなく、教育の町として常に町全体でカバーして事前にしっかり取り組むため、いち早く連絡協議会を設置したい。

Q 施行年月日が平成 27 年 4 月 1 日となっている。可決後すぐに運用したらどうか。

A 協議会要綱などの作成にともなう作業が必要なため期間を設けた。

条例制定

基本方針を県内で2番目に策定
**中能登町いじめ問題対策
連絡協議会を設置**



Q どれくらいの震度に耐えられる設計で改修するのか。

A 震度7で倒壊しない設計を組んでいる。

※5,000万円以上の工事請負契約については、議会の議決が必要と町の条例で定められています。

契約締結

**鹿島体育センター
を耐震強化**
トイレ改修や音響整備、避難
施設として自家発電も整備

1,423 万円 8 月豪雨災害で被害にあった林道などの復旧費
(専決補正)

4,340 万円 スクールバス購入費
鹿島小学校通学用にマイクロバス 2 台と
中型バス 1 台を購入

予算補正

主に左の予算
について補正

Q 申請件数は。

A 臨時福祉給付金は9月9日現在の申請件数は2,340件、全体の72%の申請率。子育て世帯臨時特例給付金は、1,091件。

●臨時福祉給付金事業・
●子育て世帯臨時特例給付金事業

Q もうきんるい猛禽類とは具体的に何か。

A ノスリ・サシバ・ハチクマなど、鷹たかの一種。林道開設予定地に巣を作っているため、現地を確認する調査費用。

●希少猛禽類生息調査
50万円(瀬戸地内)

Q どのような手続きで支給されているのか。

A 夜間に行われる会議や説明会、また行方不明者の捜索など、時間外に行ったときに支給。各課長の命令によって給与条例にある定められた形式にもとづき、書類を提出して支給される。

●職員の時間外手当

その他
議案質疑

8月豪雨の被害を受け 土砂災害対策を急げ



甲部 昭夫 議員

【甲部】①今年8月の豪雨による当町の被害状況は。

②能登部上区の被害を受けた「おたやの池」の復旧計画は。

を予定しており、残りは町単独災害復旧事業費で対応したい。

②地区要望事業として対応し、堆積土砂の除去と被災した、ため池までの道路復旧を行う予定である。

【町長】①8月に発生した大雨の被害は、人的被害はなかったものの住家被害で床下浸水3件が発生した。特に8月8日から10日の被害では農林関係で15件あり、被害総額約1億1千870万円の見込みだ。国へ約1億1千600万円の補助申請

③私有地のがけ地対策は、人命を守るため重要で、近隣市町の助成制度や要綱を参考にし、本年度中に策定したい。

その他の質問▼新幹線開通による中能登町の観光政策

イノシシ駆除に 補助金を交付せよ



作間 七郎 議員

【作間】①イノシシの農作物への被害状況と捕獲にかかわる「わな免許」取得者数は。

②イノシシの駆除対策に町から助成できないのか。

②石川県猟友会七尾鹿島支部に年間84万円で委託契約し、町内に箱わなを10基設置しているため、助成金の交付は行っていない。



↑箱わなに11頭のイノシシ (久江地内)

【町長】①今年8月までの集計で、瀬戸、大槻で水稲被害は33万円。9月には、上後山、久江、小田中、二宮などでも農地に侵入したとの報告を受けた。町内のわな猟免許取得者数は11人。町は、生産組合長会議で免許試験の実施を知らせるなど、取得者の増加に努めて

【作間】新聞には、イノシシ被害の話題がよく出ている。わなの管理や捕獲したイノシシの処分は各在所で行っているのが現状で、負担となっている。かほく市では1頭当たりで、2万8千円、加賀市では3万円、珠洲市では3万8千円、津幡町では2万円を助成している。当町での、町独自の手当てを出して欲しい。

【町長】イノシシの被害は能登、奥能登地域

でも増加中。1頭でも少なくなるように、これから捕獲後の処分や、わなの見守り、柵の設置などに対して補助を出していく。町は猟友会に委託料を払っているため、それぞれに補助を出すと二重払いになる可能性がある。各地区に負担がからないような助成措置の検討をこれからしっかりと進めていきたい。

その他の質問▼レクトピアパーク条例の改正

高齢運転者の運転免許証返納を推進せよ



林 真弥 議員

【林】昨年、町内で高齢運転者の悲しい事故が発生した。事故防止のために、

①高齢運転者の運転免許返納を推進すべきでは。

②身体機能の個人差はあるが、タクシートの積極的な活用支援が必要ではないか。超高齢化社会に向けた福祉政策、安全安心な町として積極的に推進すべきではないか。

【町長】①高齢運転者の事故防止策の一環として、運転免許証の自主返納を推進する支援

策の創設について、昨年、七尾警察署より協力依頼があった。これを受けて町では、今年4月1日から70歳以上の運転者が運転免許証を返納した場合、1万2千円分の中能登町商品券と、希望者に身分証明書として利用できる住基カードの交付を行っている。

【町長】自分ではまだ区切りはないが、高齢者講習の受講とその結果による自覚は大事だと思っている。

【林】運転免許証返納は、個人の意思があり、難しい面はあるが、手厚い政策があれば返納者は増えると考ええる。町長も無理をせずに、良い時期に返納することを望む。

その他の質問▼町職員に対する環境及び待遇改善の進捗状況



→役場へ町高齢者運転免許証自主返納支援事業申請交付書などを提出すると商品券がもらえる

長期ビジョンをきっかけ 人口減少に歯止めをかけよ



宮下 為幸 議員

【宮下】①町の2010年から2040年の人口減少率は。

②長期ビジョンの総合戦略の策定、東京オリピックまでの5年間の施策は。

【町長】①平成22年の国勢調査での人口は1万8千535人だった。独立行政法人の国立社会保障・人口問題研究所が推計した平成52年の当町の将来推計人口は1万3千798人で、74・4%の25・6%減という減少率が推計されている。



↑【町総合計画】今後の町の将来像を設計する基本的な目標として地域の特性を生かした施策の実現を体系的に明確化している

②町は、2006年から2015年までの10年間における中能登町総合計画を策定している。来年度は計画の最終年度になるので、今年度から各課における事業評価などのヒアリングを実施する予定としている。来年は町民アンケートを実施し、2016年からの10年間における、第2次総合計画策定をしたいと考えている。

【宮下】オリンピックは、ますます東京一極集中型に移行させる。まずは5年間の施策をしっかりと考えよ。

【町長】若い人が中能登町に住みたいと思う施策、安心して暮らせる施策を総合計画に盛り込み推進していく。

その他の質問▼介護施設について

ふるさと納税制度の活用で

町の魅力を発信せよ



土本 稔 議員

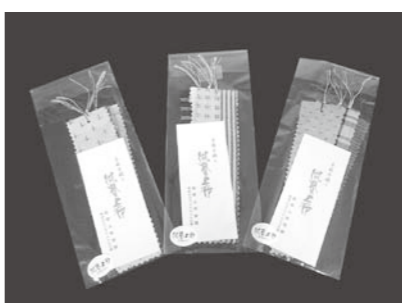
【土本】①中能登町の現状は。②ふるさと納税の使い道は。③県内外に町をPRするため、ふるさと納税を通じて町の特産品、農産物や製品を生かした特典付きふるさと納税を考えられないか。

【町長】町では、ふるさと応援寄付金として、いただいた寄付金を中能登町ふるさと応援基金に積み立てて運用し、町総合計画の主要事業に活用している。①平成25年度は21件、142万円。平成20年

度以降の延べ件数は175件、総額1千413万1千円である。

②寄付金をいただく際、その使い道について、健康・福祉や教育・文化など6つの分野の中から寄付者の意向を伺っている。一定の積立金が貯まった時点で基金を取り崩し、寄付者の意向に沿った事業に活用している。実績については、教育・文化資金では中能登中学校で使用する備品購入費として平成24年度に1千万円、健康・福祉資金では保健センター

額を問わず、能登上布のしおりを贈呈。50万円以上の方には感謝状を贈呈している。今後、地域特産品PRも兼ね、ふるさと便を活用するなど検討したい。



→「上布のしおり」寄付金をいただいた方に贈呈

③礼状とともに寄付金

石動山系に縦貫トンネル建設

に向けた調査を要望せよ



坂井 幸雄 議員

【坂井】石動山を通過して富山県との地域間交流の促進および町民避難経路の確保のため、将来を見据えて調査の要望はできないか。

【町長】当町から氷見市への交通手段の1つである主要地方道氷見田鶴浜線。能登と氷見市を最短で結び、県境を越えた産業・文化の広域交流の促進、また志賀町の原子力発電所において重大な事象が発生した場合は避難路として利用する上でも、大変重要な路線である。県境では1・5車線の



↑【眉丈山トンネル】参考イメージ

に整備されているが、大型車がすれ違いできるように2車線整備の早期実現を要望しているところである。極めて大きな工事であることから多額の費用を要する。町としては、将来に向けた構想として検討していきたい。

その他の質問▼豪雨による土砂災害対策

石動山系のトンネル建設は、当町と富山県との交流をより一層推進する上で大変有意義なことと考えているが、

将来を見据えたまちづくりに

取り組み



諏訪 良一 議員

【諏訪】人口減少の克服や経済の活性化などは、当町にとって最重要課題である。町の実情にあった長期構想を策定し、政府の「まち・ひと・しごと」地方創生施策について、危機感を持って存分に活用してほしい。明るく住みよいまちづくりの契機とするため、①人口減少の歯止め対策は何か。②雇用の場の確保は。

統合中学校の建設と来春開校する鹿島小学校建設などの施設を充実。道路などの社会資本の整備や光ケーブルの整備、分譲宅地販売などさまざまな施策も行っているが、人口減少には歯止めがかからない状況である。今後、地元企業への支援、商業開発や企業誘致、地域資源の活用による観光交流人口の拡大などを検討しなければならぬと考えている。

【諏訪】企業誘致、この点にしっかり取り組んでいただきたい。

【町長】織物の町としての技術、歴史、伝統を生かせる業種にお願いしながら、できるだけ支援をして、県とも連携をしていきたいと考えている。

その他の質問▼イノシシ防除体制の構築▼水道水に含まれる炭酸カルシウム濃度の低減化

鹿島小学校登校坂の桜並木を保存せよ



中川 秀平 議員

【中川】建設中の鹿島小学校の周回道路について、スクールバスが通れるよう道路幅を広げ2車線化するために、登校坂にある桜をすべて伐採するという計画を聞いた。

①桜並木を保存したい町民の思いをどう考えているか。②計画されている道路幅を狭くして一方通行にすることで、児童の安全を確保するとともに桜並木を保存できるのではないか。

【町長】①樹木医によればこの桜並木は樹齢

50年程経過し、先端には枯れている所が多く見受けられ、老木化が進んでおりあと10年もてば良い方では、との事だった。すべてでなく30本程度は伐採するが、その後には桜の木をまた植えて今の景観になるようにしたい。工事により伐採する桜については大変残念だが、ご理解願いたい。

②地域住民の生活道路にも使われており、朝の通学時間帯に渋滞が発生する懸念もあり、一方通行では児童の安全確保が難しいため、拡幅工事が必要と考えている。

【中川】青森県弘前市では、樹齢100年を越える桜の木が300



→旧鹿島中学校芹川側の桜並木

その他の質問▼中能登トレジャーポイントレイラ

【町長】①町では、乳幼児、児童生徒の医療費無料化や出産祝い金制度を実施。教育では、

②のと里山海道無料化や来春の北陸新幹線開業、能越自動車道開通など交通インフラの整備で企業進出も有利になる。開発行為への相談や対応、企業誘致条

例による補助金交付、固定資産税の優遇措置

持続可能な活力ある
まちづくりに取り組み



笹川 広美 議員

高校生や大学生と地元近隣企業との交流もさらに促進したい。
③女性の活躍は今後のまちづくりにおいて重要だと認識しており、推進していく。

【笹川】日本は今、女性性が活躍し、青年が未来に希望を持つ環境を作るのが求められ、成長戦略にも盛り込まれている。

【町長】①女性協議会や青年連絡協議会への補助金の交付、担当職員を配置したスムーズな対応、町長と語る会で意見交換も行って

【笹川】輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会の行動宣言へ町長の賛同をいただきたい。

①若者、女性の社会参加、行政参加をどう考えているか。
②高校生や大学生の地元近隣企業との交流を促進し、若者の就職支援に強く取り組むべきでないか。

②鹿西高校では地域企業で職場体験を行うほか町特産物を作り道の駅イベントに参加している。また、能登二宮駅利用の高校生はグリーンアップガールとして駅清掃美化活動を行っている。そして能登地域の行政で能登就職フェアも開催するなど、様々な形で社会参加、企業交流を図っている。今後は若石ヶ峰クラフトマーケットやトレイルランニングなどのイベントを通して、

【町長】この宣言は男性リーダーが女性の意欲を高め、その持てる能力を発揮できるように男性自ら行動してネットワーキングを進めるもので、共通理解が大切と考える。前向きに検討したい。

③当町では女性の働き方に対して格差の是正を求める声が上がっている。「女性の活躍推進法案」への対応は、

【町長】この宣言は男性リーダーが女性の意欲を高め、その持てる能力を発揮できるように男性自ら行動してネットワーキングを進めるもので、共通理解が大切と考える。前向きに検討したい。

【町長】並行在来線となるJR七尾線の津幡駅から金沢駅の区間は、第三セクターIRいわかみ鉄道株式会社が営業することになっており、新幹線と並行しない区間となる中津幡駅から和倉温泉駅の区間

【町長】並行在来線となるJR七尾線の津幡駅から金沢駅の区間は、第三セクターIRいわかみ鉄道株式会社が営業することになっており、新幹線と並行しない区間となる中津幡駅から和倉温泉駅の区間

北陸新幹線開業に向け
町発展につなげる対応を急げ



若狭 明彦 議員

は、引き続きJR西日本が七尾線として営業する。JR七尾線からは、金沢駅から穴水駅間の臨時列車の運行など実証実験を実施し、今後も強化を進めて行くことを聞いている。

【若狭】のと里山海道も無料になり、来年3月14日に2時間30分で東京ー金沢を結ぶ北陸新幹線が開通する。町にはJR七尾線の駅が4つある。この利便性を生かして町発展のためにどのようなことを考えているのか。

【町長】並行在来線となるJR七尾線の津幡駅から金沢駅の区間は、第三セクターIRいわかみ鉄道株式会社が営業することになっており、新幹線と並行しない区間となる中津幡駅から和倉温泉駅の区間

【町長】並行在来線となるJR七尾線の津幡駅から金沢駅の区間は、第三セクターIRいわかみ鉄道株式会社が営業することになっており、新幹線と並行しない区間となる中津幡駅から和倉温泉駅の区間

【町長】並行在来線となるJR七尾線の津幡駅から金沢駅の区間は、第三セクターIRいわかみ鉄道株式会社が営業することになっており、新幹線と並行しない区間となる中津幡駅から和倉温泉駅の区間



【能登二宮駅構内】→ テキスタイルラボでプリントされた布地を使ったドレスなどが展示されている。訪れる方に繊維の町なかのとのPRに役かっている。

今後の対策として、七尾線の近代化促進による一部複線化や鉄道施設の改良による時間短縮、安定的な経営に向けた支援政策の充実などを要望している。

【能登二宮駅構内】→ テキスタイルラボでプリントされた布地を使ったドレスなどが展示されている。訪れる方に繊維の町なかのとのPRに役かっている。

常任委員会



月1回開催
しています。
傍聴大歓迎

中能登町議会には2つの常任委員会があります
それぞれの所管の業務をとりあついています

教育民生常任委員会がとりあつかうこと

- 福祉
- 介護
- 保健
- 環境
- 教育
- 生涯学習

■教育民生常任委員会 町から報告受ける

ラピア鹿島「保健センター」を放課後児童クラブに利用

平成27年4月1日から新しく鹿島小学校が開校します。
開校に合わせ、鹿島小学校の児童は、ラピア鹿島内にある保健センターの場所を利用することになります。

放課後児童クラブとは・・・
放課後や春・夏・冬休み・土曜日など、保護者が就労などの理由で日中家庭にいない子どもを預かり健全な育成を行う事業

■教育民生常任委員会視察研修

9月30日から10月1日実施

長野県川上村 全国トップクラスの医療費の低さ

川上村は出生率が全国トップクラス、医療費も全国トップクラスの低さの村で、レタスの生産がさかんな村です。研修では全国町村会長でもある藤原村長の説明を受け、全国初の24時間オープンな図書館や村内にある医療・介護・福祉が一体となった施設「ヘルシーパークかわかみ」も見学しました。
今後の人口減少問題も見据え、住民の福祉などさらに取り組んでいきたいと思ひます。



↑長野県川上村24時間オープンの図書館を見学

長野県諏訪市 ものづくり教育で子どもたちの心を育てる

平成20年度に内閣府承認の教育特区として正式な教科である「相手意識に立つモノづくり科」を市内小中学校で導入。行政、学校、企業、家庭、地域が協力連携しながら、子どもたちが「ものづくり」への興味関心を高め基本的な技能を習得するとともに、人やものを思いやる心を育て地域の歴史や産業等を理解し、郷土を愛する気持ちを身に付けていくことを目標に行われています。中能登町も繊維の町、ものづくりのさかんな町です。今後、未来ある子どもたちのために議会でも何が出来るか協議していくうえで、たいへん有意義な研修であったことを報告いたします。



↑長野県諏訪市 ものづくり教育について

来春開校 鹿島小学校

委員会の役割

学びやすい環境づくり
の検討及び建築工事の
円滑なる推進

工事進捗率 校舎棟全体 **79.8%** (9月末現在)
ほぼ予定どおり進行中

建設費用 **約 24 億 8,500 万円**
(うち一般財源 4 億 8,300 万円)

旧鹿島中学校の撤去
工事費用などを
含めた金額です



↑ 建築現場を視察 (10月3日)

当委員会から町へ要望

- (1) 無事故で工事を進めること
- (2) 校舎本体工事を11月末 (冬季前) までに完成すること
- (3) 平成27年3月に予定どおり竣工すること

庁舎統合建設特別委員会活動報告

3案の候補地を議会で検討中

選定候補地

- 案① 烏屋庁舎を改修・増築する
- 案② 鹿西中学校を改修・増築する
- 案③ 新用地 (ラピア鹿島周辺想定)

現在の状況

平成26年3月31日に3庁舎統合について、「旧鹿西中学校校舎の増改築により整備する」を基本とするなどの答申が中能登町庁舎整備検討委員会から杉本町長に提出されました。この答申を受け、町当局が議会で提示した3案は上記のとおり。

この3案について、庁舎統合建設特別委員会で場所選定や建物の内容について協議をしています。

委員会の役割

統合庁舎の場所・建物
の内容を検討



↑ 統合庁舎の場所選定について協議 (10月15日)

総務建設常任委員会がとりあつかうこと

財政

土木

農林

情報

商工観光

上下水道

■ 総務建設常任委員会 町から報告を受ける

放射線防護対策工事進める

原子力災害時に要援護者の一時避難に備えるため、屋内退避施設としてラピア鹿島「ミューズホール」を改修。衣服に付着した放射線物質を除去するエアロック室を設けるほか、遮へいするための鉛カーテンも設置します。

— 主な質疑 —

委員 質疑 避難想定される方は何名か。

町 答弁 現在147名を想定。主に対象者は、要介護3以上の高齢者など。

委員 質疑 財源は。

町 答弁 国からの100%補助事業。

中能登町議会では
4つの特別委員会
があるよ



特別委員会

議会行革・活性化特別委員会活動報告

通年議会の導入を検討中

現在、中能登町議会の定例会は3、6、9、12月の年4回。この回数をなくし議会を閉会することなく、常時議会が再開できる「通年議会」の導入を検討しています。

通年議会導入メリット

- ・ 議会が主導的に会議を開くことができる
- ・ すぐに会議を開くことにより協議事項に迅速に対応できる

先進地へ視察研修の実施

内灘町 (8/26実施) ・ 津幡町 (10/28実施) へ通年議会の取り組みについて研修しました。

委員会の役割

活発な議会活動

健全な財政運営の
ための行財政改革



↑ 津幡町議会へ訪問

中能登町議会だより 創刊に寄せて

日増しに寒さが身にしみるようになり、温かい鍋が恋しい季節となりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。さて、中能登町が誕生して早や9年が経過しました。町議会では、本年3月定例会におきまして議員提出による議会基本条例を可決しました。

この条例の制定に伴い、議会の役割と責務に基づく町民の身近な意思決定機関であることを自覚し、町民の福利のための活動をを行い、政策立案能力の向上に努め、町政の情報公開と町民参加を推進する議会がこれまでに以上可能となりました。



中能登町議会議長 亀野 富二夫

議会活動を、より詳しく知っていただくために、本年7月の組織臨時会で議会広報特別委員会を設置し創刊号発刊に向け作業を進めてまいりました。

これからは、「中能登町議会だより」が、議会のホットラインとなり、活動内容を町民の皆様へ向け発信いたします。

激動する社会情勢の中、町議会は、町民の方々の悩みと声をくみ取りながら、町民の皆様とともに歩み行動し、町民全体の福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指して、その実現に向け努力する所存でございます。

今後は、議会により一層関心をお持ちいただくとともに、たくさんのお声を寄せていただければ、ようなお知らせを届けていきたいと思います。

町議会に対してのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、町民の皆様のご健勝、ご繁栄を祈念し、創刊にあたってのご挨拶いたします。

議会広報「中能登町議会だより」が創刊されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

中能登町が町制を施行し、今年度で10周年を迎えます。この間、町民の融和を第一に、まちづくり計画の基本理念でありま

す「ふるさと ふれあい 心を育む 中能登町」を将来像とし、議会の皆様と共に各種施策に取り組んでまいりました。合併の象徴であります中能登中学校の建設などの各種事業は、町民の皆様、議会議員の皆様のご理解とご協力なくしてはできないものであり、ここに改めてお礼を申し上げます。

さて、これまで議会活動の広



中能登町長 杉本 栄蔵

報は、町が発行する「広報なかの」と掲載していましたが、紙面の制約により要旨の掲載にとどまり、その内容を十分に伝えることができなかった面もあったように思います。

この度、議員の方々が議会だよりの発刊に取り組まれたことは、自らの議会活動を、より詳細に、より分かり易く、町民の皆様へ伝えたいという意気込みからであると、深く敬意を表するものであります。

今後は、議会だよりの発行により、議会が町民の皆様にとり、より身近な存在となり、これまで以上に幅広く町民の声が反映される議会となることを期待いたします。

最後になりましたが、議会広報特別委員会の委員の皆様方には、編集に大変ご苦労もあろうかと思いますが、この広報紙が議会と町民をつなぐ架け橋となり、中能登町議会が益々発展されますよう祈念いたしました。お祝いの言葉とさせていただきます。

議会運営委員会



議会運営全般を協議しているよ

請願・陳情を審査

請願は議会運営委員会で審議の上、各常任委員会に付託しています。

9月定例会では請願4件を受付

- 産後ケア体制の支援強化を求める請願書
- 危険ドラッグの根絶に向けた迅速な対策を求める請願書

ほか2件

常任委員会に付託しそれぞれ採択され、意見書として中能登町議会から内閣総理大臣をはじめとする関係機関へ送付しました。

新議員ハンドブック作成

平成26年3月20日に中能登町議会基本条例を制定。これを受けハンドブックを刷新。従来の項目に新たに基本条例を追記し、サイズもA5サイズに変更しました。町内外での議会活動に役立てます。



↑サイズ大きくして刷新

■議会運営委員会視察研修

9月1日から9月2日実施

富山県氷見市 中能登町の新庁舎像を模索

氷見市では、新庁舎の移転に至った経緯や新庁舎に込められた思いなど、本川祐治郎市長自らの説明を受けました。新庁舎は、旧有磯高校体育館を活用し、仕切りのない広い空間を活かした窓口のワンストップサービス化を実現。また、市民が使用できる多目的会議室を設け、市長室は正面玄関入口から近い位置に配置されるなど、市民目線であることがうかがわれました。当町合併以来の懸案事項である庁舎統合の議論が本格的に始まろうとしている時期に、氷見市新庁舎を視察し、中能登町の新しい庁舎像として大変参考となりました。



↑平成26年5月に開庁した氷見市庁舎を視察

富山県上市町 災害時応援協定締結自治体との交流促進

上市町は、平成26年1月1日現在の住民基本台帳人口は21,929人で、富山市近郊に位置しながら、人口の減少傾向に歯止めがかからない状況があることから、企業誘致と主に民間主導による分譲宅地開発に努めているとのことでありました。

上市町とは、去る7月28日に当町鳥屋庁舎において、災害時相互応援協定が締結されました。

この度の視察は、議員として必要な見識を深めるための先進事例調査のみならず、災害時相互応援協定の締結を機に、災害時に限らず当委員会の訪問が先駆けとなり、今後、両町の交流が深まっていくことを目的とし訪問させていただきました。

議会活動報告 7月から10月までの議会活動

28日	24日	18日	16日	15日	14日	6日	3日	2日	30日	29日	26日	19日	17日	11日	10日	9月1日	27日	26日	18日	13日	11日	7日	6日	5日	30日	23日	17日	16日	11日	7日
議会運営委員会・議会行革・活性化特別委員会視察研修(津幡町)	議会広報特別委員会	姉妹町・紀宝町みなとフェスティバル参加(5名参加)	総務建設常任委員会	庁舎統合建設特別委員会・第7回臨時会・全員協議会	教育民生常任委員会	議会全体行政視察研修(山形県川西町、宮城県蔵王町、名取市)	鹿島地区統合小学校建設特別委員会	青森県外ヶ浜町議会受入	教育民生常任委員会視察研修(長野県川上村、諏訪市)	議会運営委員会	議会広報特別委員会	議会全体行政視察研修	全員協議会・9月定例会(最終日)	議会運営委員会・9月定例会(一般質問)	教育民生常任委員会・総務建設常任委員会(付託議案審議)	9月定例会(開会日)	9月1日	議会運営委員会視察研修(富山県上市町、水見市)	議会運営委員会・議会行革・活性化特別委員会視察研修(内灘町) 全員協議会	教育民生常任委員会・能登地区町議会連絡会研修(穴水町)	総務建設常任委員会	議会広報特別委員会視察研修(志賀町)	鹿島地区統合小学校建設特別委員会	議員・監査委員合同研修会(津幡町)	議会行革・活性化特別委員会・議会運営委員会	第5回臨時会・全員協議会・議会運営委員会	町村議会議員・副議長・委員長研修会(津幡町)	教育民生常任委員会・総務建設常任委員会	議会広報特別委員会	第4回臨時会・全委員会・全員協議会

中能登町議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか

中能登町議会では、定例会をはじめ、月1回の常任委員会や全員協議会、随時開催される特別委員会など、様々な会議を開催しています。

会議の傍聴はどなたでもできます。お気軽にお越し下さい。団体申込みされる場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

議会の開催は告知端末や町ホームページでお知らせしています。

↓↓町ホームページ↓↓

<http://www.town.nakanoto.ishikawa.jp>

議会モニター募集

議会は、町民からの議会運営などに関する要望、ご意見をいただき、議会運営に反映したいと考えています。

↓モニター要件はこちら↓

- ①年齢満18歳以上の町民
- ②町議会の仕組みや運営に関心がある方
- ③町政や地域社会の発展に関心がある方

モニターになりたい方、まずは議会事務局までご連絡を下さい。定員に達し次第締め切りとなりますのでご了承願います(Tel 74-2808)。

議員として必要な見識を深めるため、本町が抱える行政課題に対応した先進事例調査を実施

平成26年度 議会全体視察報告

10月6日から10月8日実施

山形県川西町

デマンドタクシー制度のより良い利用方法を模索

デマンドタクシー導入前には空気バスと皮肉られたこともあったという路線バス。住民アンケートを実施し、戸口から戸口まで移動できる交通システムを必要としている結果を踏まえ導入に踏み切ったとありました。導入にあたっては、高齢者の自由度の拡大、閉じこもり解消、生きがいの創出など町で暮らし続けられる生活基盤の整備という視点から、町民の理解を求め、財政面においては、平成25年度決算額で、およそ3分の1、約560万円まで経費節減につながったとありました。当町においても、従来の循環バス方式を見直し、本年4月からデマンドタクシーとおりひめバスの組み合わせにより、利便性を高めながら経費節減へとつなげておりますが、利用について町民に周知を図りアピールしていく必要があると感じました。



↑川西町でデマンドタクシーの運用と実績について研修

宮城県蔵王町 ますますの議会改革を目指して

蔵王町議会では、平成16年の地方自治法の改正を受け、平成21年から定例会を年1回として議会を運営する定例会方式の通年議会を導入され、その際の経緯などについて説明を受けました。

当議会としても執行部との協議を経ながら通年議会の導入について議論を深めてまいりたいと思います。



↑名取市で震災当時の話を伺う。担当者からの話に胸のつまる思いを感じました

宮城県名取市

東日本大震災による被害状況及び復興状況を伺う

名取市では、東日本大震災による被害状況及び復興状況について説明を受けました。名取市では、死者911人、行方不明者40人、半壊以上の建物が5千棟以上という甚大な被害を受けたとすることで、災害後設置された避難所は52カ所、1万2千人の方が避難されたということでした。名取市の死者の多くが津波によるものですが、今後は、海沿いと山沿いそれぞれの地形に合わせた訓練や対策が必要との説明がありました。被災後3年を経過し、津波防災対策工事が着々と進められ復興への道りを歩んでいるということを実感しました。近年は、世界的にゲリラ豪雨、土砂災害などの自然災害が多発しています。常日頃から災害に備えて1人ひとりが考えて行動していくことの大切さを改めて感じました。



↑津波で家屋の流された跡が残る(名取市内)

12月定例会の日程

ぜひ傍聴にお越しく下さい

12月10日(水)	10:00	定例会 開会
		[議案上程・提案理由説明・議案説明・質疑など]
12月15日(月)	10:00	教育民生常任委員会 [付託議案審議]
	13:30	総務建設常任委員会 [付託議案審議]
12月17日(水)	10:00	一般質問
12月19日(金)	13:30	全員協議会
	15:00	定例会 最終日
		[委員長報告・質疑・討論・採決]



【議会広報特別委員会】

「とびら」

「議会だより」の作成をはじめ、広報活動にがんばっています。

今後は、定例会後、年4回の発行を基本として議会だよりを作成していきたいと考えています。

お楽しみに。

委員長 笹川広美
副委員長 中川秀平
委員 作間七郎
古玉栄治
宮下為幸
諏訪良一
山本孝司

編集後記

待望の「なかのと議会だより」が誕生しました。「とびら」と題し開かれた議会を目指します。まだ産声をあげたばかりの未熟な議会広報紙です。

町民のみなさまとの「対話」があり、みなさまの「参加」がある「議会だより」へと成長したいと願っています。

どうぞ手に取りご覧下さい。多くの方のご意見・ご要望をお待ちしています！

議会広報特別委員会
委員長 笹川広美

→表紙や表題について、活発に意見を交わしあう委員会 (10月24日)

